令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	265
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	特別支援教育支援事業			
担当課等名	学校教育課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
	分野別計画			
	法令・例規等		学校教育法	
			障害者基本法	
			障害者差別解消法	

事業目的		
	対象	特別な支援を要する児童生徒
	意図	学校での生活や学習活動が円滑且つ効果的に実施できるよう支援する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	特別な支援を要する生徒が増加傾向にあり、支援を行う人員配置を求める学校からの声が切実です。外国籍の児童数も増加傾向にあり、日本語指導などが求められています。 障害等の有無に関わらず、誰もが望めば合理的な配慮のもと地域の学校で学ぶことができる教育システム（インクルーシブ教育システム）の構築と、そのための学校への支援や、共生社会の実現へむけた児童生徒や教職員の意識変化が求められています。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・教育指導主事や教育相談員等による学校訪問を通じて、各校の現状や課題を共有します。 ・就学相談や各校における「学びの場の見直し」に関する指導、支援を行います。 ・特別な支援を要する児童を支援するため、特別支援教育支援員（生活・学習支援、介助支援）を学校に配置します。 ・ICT機器や支援に有効な教材等の積極的な導入により、特別支援学級や通級教室の学習環境を整備します。 ・副学籍制度による学習交流活動を支援します。 ・教職員の特別支援教育に関する専門性を高めるための研修会を実施します。 ・外国籍児童生徒の日本語学習に対して必要な支援を行います。	特別支援教育支援員報酬等	67,381
	特別支援学級等の消耗品費	2,125
	特別支援学級等備品費	1,092
	研修会謝礼、旅費	260
	ことばの学校等負担金	23
	外国籍児童生徒共生支援員報酬等	4,673
	日本語指導者報酬等	870
	日本語教室消耗品費・備品費	761
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
小学校特別支援教育支援員数	人	31	30	31	31	32		31	
中学校特別支援教育支援員数	人	11	12	12	11	11		13	
教育支援研修会開催数	回	4	4	4	4	4		4	
外国籍児童生徒共生支援員配置数	人	5	5	5	5	5		5	
副学籍制度の利用者	人	22	22	22	22	23		24	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	77,185	（国）外国人就学促進事業補助金（１／３）　388千円
国庫支出金	388	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	76,797	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	12	2	3,014 / 0	特別支援教育支援事業費
2	1	10	3	2	12	2	1,247 / 0	特別支援教育支援事業費
3	1	10	2	2	1	3	52,986 / 0	小学校会計年度任用職員人件費
4	1	10	3	2	1	3	19,938 / 0	中学校会計年度任用職員人件費
5								
6								
7								